夕刊
磐城新聞
十一月十七日發行
(日曜祭日翌日休刊)

一つの集りをもつ會の前ぶれ

高瀬勝男

雪の靜かに降る夜、雨のしのびやかに音ずる日仕事に疲れて一杯の茶を好む頃一年は三百六十五、六日の計算とした。この間私達は心樂しい集りをもちたいものだ三人でも五人でも集つたら、さて何をかたらうの心配なく雜談でいい、そして皆なして甘ひお茶をのみたい、新らしい果物はさあ戴きませんか指につまんでたべたい、御存じでしよう。すこしづつでもみんなしていろいろの話しのなさでいただくことはとても嬉しいものです。立派な御招待で儀禮を兎角いいたい一時間より、親しみ合つた人達の短時間の語らひで心の凝りをほごす意味の集りを續けたいのです。一人居の無聊もあることでしよう、ものごとの合間々々に息づくそれに似て忙しかつた一日のうち、のびのびと憩ふ自分にたちかへさせてみたいです

お祭は時計をかけて祝ふては餘りにありがたくありません。同じ私達にしても披れたら休むのが自然で、この休みは子供の遊戯に關連します。禪の坐法は修養ですが、心理的の平常は、感激やら興奮やら感情を忽ち働きかける用意があるのです、子供の遊戯も大人になる道程です

私達のこれからものする集りも一人から二人、二人から三人とやがて町に市にはたらきかける內容と力を充實させる期待があります最始のあつまりがおよそ意味がなくても段々と形づくるにしたがつて、多方文化いろいろの希望やら理想やらの新らしい向上が知らないうちに育つて、この集りは素晴らしいこの地方の歷史的存在になる基礎をもたせたいものです、平町を中心とするレベルは仲町村に自動車置場も出來ました、教育も隨分進んだ成績をあげ、經濟に行制に年々實をみせてゐます。それであつて教育家、藝術家、宗教家、法律家、事務家と數へたてた、知識層のうち一緒にまとまつた小さな集りがありません、各人が自由にかたられる集りのないことははづかしいことです。又綜合した集りをもとうと思つてゐない樣です、消極物とか積極的とか面倒な解釋でなしに、働きかける精意が薄いのです、共にこの土地に住む上には隨分と力をどんなものの上にそゝいでもよいのではないかと思はれます、まして貴い文化を一層向上させる點にもこれらのあつまりは是非必要のこととうなづけなければ駄目です

私達が綜合的な集りをもちたい熱情はこゝにうごいてをるのです、繪と音樂と文學との趣味を一丸にした集りを前提として幾人かのグループをつくりたいもので、法律家の歌よみも、事務家の醬家も、お醫者の音樂家も一緒になつて會談する、冬も春も秋も夏もどんなに愉快な爽やかなことだらう

この一文は私達の集りが具体的になる迄勝男のいひぶんとしてをいて下さい

病床にて

杉江鈴子

○かのひとの心知りえぬ戀ごころ諦めかねて病床にゐる
○闇に散る花火のごとき儚さよわが情熱のやりどころなし
○江の島ときけばなつかしはつはつにひと戀ひそめしわが思ひ出に
○想ふひどの熱きまなざし頰にうけて堪へがたくゐし日もありにけり
○戀ごころそれぞと氣づきひと思ふこころは炎のごとく燃ゆるも

潮聲硯靜抄帳

萩　楽秋
萩分けてそれし野球を探しけり

秋の風　巨湫
灯れども外暖き秋の風
蜩の鳴けるに見れは春く日

百舌鳥　雨山
夕百舌や多摩の横山晴れわたり
砂利舟のまた下りゆく芒かな
新涼の雨脚見ゆる灯影かな
いよゝ鳴く青松虫に月出でぬ

曇り日

竹馬苦

曇つてます
曇つてます
空にはトンビが舞つてます
スイ〳〵雪虫飛んでます
どつかぢや稻扱きやつてます
おーい、蜜柑をもいだげよう
媼つばさん呼びます、叫びます
お背戸の畑へいつてみよう

11月18日　△淸國軍艦初めて長崎に來る(明治八)△我軍チヽハルを占領す、敵の死傷四千(昭和六)△松岡代表意見書を聯盟に提出す(同七)△奉山線に列車顚覆事件あり(同八)

11月19日　△俳人一茶歿す(文政一〇)△新潟開港(明治二)△スペイン前皇帝國外に追放さる(昭和六)△拜泉に監禁の下枝少佐救出さる(同七)△イタリー元外相シャローヤ氏逝く(同八)

社會の今日

○
夕日には美しく見ゆみんなみに、紀伊の崎長し草枯のいろ　土田耕平
よく眠る猫は老いけり榾の宿　三幹竹

島山(四)

野村吉司

4　大海の眞ん中にポツンと浮んだ小島のやうに、周圍を田圃にかこまれた小山だから、それは島山と呼ばれてゐました

五郎はその島山へ栗を拾ひに行つたのですが、木の枝でイガをこじ開けながら、ふと後を振り返ると、三間[illegible]ふに赤い頰をして、片手で白いあご髯をしごきながら、一人の老人が佇んで五郎を眺めてゐるのです。五郎はハツとすると、其老人は聲を立てゝ笑ひました

腰を拔かさんばかりになつた五郎は、懷の栗がバラ〳〵と落ちるのも氣付かず一散に坂徑を驅け降りたといふわけです

橋を渡つて島山の裾の小徑にかゝると、流石にみんな默つてしまひました。各々胸をドキドキさせながでも何しろ大勢だし、帝國軍人が仲間にゐるのだし、手に手に獲物をかざして一歩一歩小徑をのぼつてゆきました

「このへんだつたよ」

と五郎君は言ひました。成程そのへんには栗の實が落ちてゐて、むきかけたイガ栗と轉つてゐます

だが天狗の影は見ゑません

「もつと上にゐるのかも知んせ」

「僕はきつとエテ公に違ひないと思ふんだが、生取り出來るかしらん」

「ゴリラかも知れんせ」

「あほ言へ。こんな處にゴリラなんかゐよるもんかい!」

「さうとも。ゴリラは熱帶だい。なアあんちやん」

と口々に甚だ元氣ですがそのくせとかく平太郎さんのそばにくつついて、モリ君なぞ水兵服の端をしつかり掴んでゐる次第です

講談　戸隱奇譚　山の怪秘

(42)　丸山寛雄作　眞木浪畫

拷問堂(六)

がん像――がん像とは本尊を祀り込んだ厨をいふのだ

左手褉を入ると、六疊ばかりの部屋といふよりも物置小屋然とした薄暗い處。最前、英仙が部屋の燈火を吹き消したので僅な明りは右手の部屋から、この部屋をよぎつて、淡く屆いてゐるのであつた。その光に幻の如く浮き出された六尺に三尺ほどの長方形の箱。これは今方まで嚴不動尊と前机との間に立てゝあつたものを、英仙が機關仕掛けによつて引下したものである。ガタガタといふ音は、そのときの音であつた

英蓮と英仙は、この箱、がん像と呼んでゐるこの兩開きの扉を開いて側に立つ

『さ、お女中、この中ぢや、この中に立たれたら念佛合掌を片時も休まれるな。吾々も外から鐘を鳴らし、誦經いたすのでござるから……』

英蓮が、おごそかに言ふ

お豊は、內心無氣味に思ひながら、怖々がん像の前へ行つた。今の英仙の無謀な所爲と言ひ、又この奇怪な鐵の箱と言ひ、お豊の歩見心地であるのも無理はない

「手を合せ、靜かに立つてゐられよ。どんな事があつても動かぬ方が宜しうござるぞ」

英仙は、こんなことを言ひながら、そこにおじ〳〵してゐるお豊を押しやるやうにしてがん像の中に立たせた。箱の中には錆臭いやうな、濕り臭いやうな何とも言へない不快な匂ひがこもつてゐる

お豊が正面向きに立つのを見て英仙は左の扉を、英蓮は古扉を押して、堅く鎖した。これでお豊は不可解な鐵の箱の中へ閉ぢ込められてしまつたのである

『英仙、上へ上げい』

英蓮は鐵如意を振上げるやうな格好をして命令する

英仙は傍に下つた縄を手にかけて曳くと、見る〳〵がん像は、お豊を入れたまゝ宙に吊り上つて行く。程よい處で縄尻を岩壁の間から出た横杭にからみつけた

『では、お勤經に上らう』

英蓮は英仙を促して、一旦、右手の部屋へ入つたが又元の朱の法衣を纏ひ、英仙を從へて岩の階段を登つて行つた

丁度その頃、この不動堂の[illegible]所へは一人の異形な男が入つてゐた

その男は、こゝへ登つてくる坂の上り口、甘茶屋で馬子彦七へ嚴不動堂への道を尋ねた、頭髮をもぢやつかせた妙な男であつた

「ちと祈願致し度いことあつて參つたものでございます」

どうやら言葉つきは身なりの割合には、はつきりしてゐる

「何の祈願でござるな」

例の所化僧、胡散くさい奴だと男をぢろ〳〵見下しながら言ふ

「病氣でございます」

「ふむ病氣でござるか、して何の病?」

「はい、身体中、手と言はず足と言はず、小さなぶつぶつが出て、痒がる病でございます」

「その病を癒して頂きたく參つた仕儀でござるの」

「はい、左樣でございます!」

「さう言ふ皮膚の病は、靈驗陀羅尼水をつけただけでは、どうも効はごさらぬ。本堂のがん像祈願でも致さぬことには、病の根をそぐことは難しい。だがお見受け申すところ遠方から參られた御樣子、それならばこの陀羅尼水を持つて歸られ根氣よくおつけなさるのが宜しうござる」

所化僧は、机の下から素燒きの壺を取り出した

「がん像祈願とは、どんなことでございますか」

貸切り
專門優良車
乘心地の超特快適な三四年型デラックスセダン着
何卒御用命願ひます
平町四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

難波醫院
內科
小兒科
入院隨意
自炊の便あり
平町大町
電話五〇二番
醫學博士 難波睦

石炭
コークス
玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

磐城代表的の土産品
山。靈峰羊羹
里。柿羊羹
海。のり羊羹
各一本金十錢
右美麗三本箱入 特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店

廣告

マグネット
ダイナモ
バツテリー
試驗機完備は確實を語る
久野電氣工業所
平紺屋町
(呼電)三六六番

內臟外科
外科一般
花柳病科
(入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話三〇九

外科
內臟外科
レントゲン線
▷病室完備◁
醫學博士 諸橋鐵彌
新川町二七(電四六四)

流行ショール陳列
●お子樣用毛皮ヱリマキ一圓五十錢ヨリ
防縮防虫毛メリヤス製品
特許眞綿入毛メリヤス製品
陳列
ツルヤ
平四 電一四〇

產婦人科
外科
藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 立番彌一
平町新川町十九番地
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

氣管、食道科、
耳鼻、咽喉科、
專門
平町南町
(元眞木辯護士跡)
(入院隨意)
增田耳鼻咽喉科醫院
電話四八二番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ
今一番勉強スル當店へ
內外銘木
建築材一式
便利瓦
平町紺屋町
織田材木商店
電話四六〇番
欅優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡(電話四七五番)
安齊外科醫院

每度各別の御引立に預りまして難有御禮申上ます。
扱て燈下親しむの秋明るく經濟なマツダランプは自十一月十五日至十二月卅一日の期間中一ケ御買上毎にマツダ會聯盟名入の粗品を差上げることに致しました。これは前にも申上げました通り再製不良品を安く販賣するものがありますので之等と區別して戴き度い心根で御座います。宜敷此の機にマツダランプの眞價を御認め被下樣併せて御願致します。
東京電機株式會社
マツダ會聯盟

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

外科專門
X光線科
入院隨意(自炊の便あり)
平南町
病室完備
上田醫院
(電話一二九)

明後日の期間切迫に 閲覧者たつた二十名

解散の豫想さへある今日 案外選擧權に無關心な平町民

去る九月十五日現在の衆議院議員並に町會議員選擧有權者名簿は平町でも去る五日より縦覽を開始し期間の十五日間は明後十九日を以て滿了となるが來る通常議會の解散が一部に臆測されつゝある折柄に拘らず一般有權者が極めて之に關心を有たぬ故か、或は當局の正確なる調査に信頼せる爲か全町有權者衆議院四千五百九名（前年より六十六名増）町會四千二百九十七名（三十五名増）中今十七日午前中迄の閲覧者は僅々二十名に過ぎぬ有樣であるが明後十九日の期間經過後に在つては如何なる誤記脱漏を發見しても絶對に補正の途無くこの場合には立派に選擧權者たるの資格條件を備へ乍ら貴重な一票の權利を行使出來ぬ事になるので至急該名簿を確め置き其間遺漏なきを期すべきであると、因に前記二十名の閲覧者中には現町議有名な某選擧マニア、醫學博士各一名の交つて居るのが異彩である

不況に追はれた離村娘千七十名

平署管内血涙の統計

平署では過般來既報の如く管内に於ける去る一月以降去月末迄の可憐な離村娘子軍を取調べ中であつたが今十七日纒つた處によると

種別	縣內	縣外	計
藝妓	二四	三七	六一
娼妓	五	三二	三七
酌婦	三九	四八	八七
女給	四一	四九	九〇
女中子守	一九一	一六六	三五七
女工	一一七	二〇八	三二五
其他	五一	六二	一一三
計	四六八	六〇二	一、〇七〇

區分	藝娼酌婦	女工其他	計
東京	二五	一三六	一六一
神奈川		六二	六二
茨城	一八	三五	五三
群馬			四五
埼玉			四三

等が主なるもので、如上の數字を通じて觀ると女中、子守、女工の出稼ぎは最近めつきりその數を増して來た傾向にあり、取りわけ山間部方面がその大部分を占めて居る現勢から同署ではこれら悲惨のドン底に藻掻いて居る弱身につけ込みひそかに懐を肥やして居るモグリ桂庵に對し嚴重な監視の眼を放つて居る

平町會

平町會は二十一日午後一時から既報市制施行調査委員會の細目を協議する外左記諸件を附議

寄附採納、町費寄附、九年度更生豫算、戸數割異議申立決定、度量衡取締規程制定

鑛山夜話 友子組合の事

テー・アイ生

1

友子組合は遠く徳川時代から傳はつたもので、全國各鑛山に普及せる一種の自治的共濟組合である

習慣によつて坑夫となるには一定の形式に從つて多數同職者の立會を經て取立て（現在取立と稱する式）られるもので取立てを受けた坑夫を友子と呼ぶのである

0

全國の友子は古來の慣習に從つてお互に災害扶助の義務があるもので、之を友子の交際と云ひ、之の交際を繼續するのを交際坑夫と謂ふのである。そして之の交際は全國に及ぶものであつて、之の團體を友子組合と云ふのである

0

共濟の事務は各鑛山毎にやる場合もあるし、二つ三つの鑛山が聯合して友子交際所（箱元）を設けてなす場合もある、共濟の方法には二種あつて、傷病者死者或は怪我の輕いものなど一時的のものは一鑛山内で救濟するし、不具癈疾の樣に怪我の重いもので長い間救濟せねばならぬものは全國の友子の同情に訴へて全國の友子の救濟を受くる樣になつて居る

0

前の方を山中交際と謂ひ後者を箱元交際と云ふ之の交際の行はれて居るのは全國の金山、硫黄山の殆ど全部、北海道、當地方の石炭山の一部で、石油山、九州方面の石炭山には行はれて居らぬ、そし之に加入する坑夫の種類は採鑛夫支柱夫及手古等の坑內夫で坑外夫が交際坑夫になるやうになつたのは最近の事である

0

併し取立てを受けた坑夫が隧道工事等に働くやうになつても交際を續ける場合もあるし、又取立てを受けない雜夫其他の鑛夫も或る範圍を定めて交際（半交際といふ）を許される場合もある

0

友子組合は徳川家康の山例五十三條から起つて居る樣である、家康は鑛業獎勵の必要上採掘權を保護し、一面坑夫に特權を與へて試護したものである、山例五十三條に

假令名城の下であつても鑛脈があるならば掘つてもかまはない

と云ふ事が定めてあり、保掘に對して之丈け認めたのは今とは比較にならない程廣範圍である、又

一、山師金掘師（鑛夫の事）は天下不入の地に樂しみ世の資を出すによつて諸士の席にて苦しからざる事

とある

遞送集配手に防寒帽子

平局では漸く寒氣の酷しくなつて來た昨今午前四時半頃同局を出發二時間半を自轉車で急行する合戸への遞送手をはじめ深夜早曉に活躍する遞送手電報集配手の爲防寒帽の配給を當路に申請中であつたが今十七日遞送手四名、電報集配手五名に黒ラシャのスキー帽が到達したので早速使用せしむると

愈々減收が祟り 糯米騰勢を歩む

今十七日値上げ斷行

平米穀商組合では今十七日一疋

田糯白 二十二錢

陸糯白 二十一錢

と各一錢宛を値上げし漸く需要期に入つて來た折柄一升三十一錢五厘、三十錢となつたが、之は元來性質の弱い糯米が冷濕虫害により郡內で約三割減收（平年作一萬五千石）を來たし品不足のため歳末正月を控へる來月中旬頃には相當の高値を示すだらうと觀測されて居る

兩鐵道書記歸任

既報—平小鐵道敷設の調査資料蒐集の爲來郡した東京鐵道局建設局計劃課關內、堀兩書記は水戸運輸事務所に立寄り常磐線の物貨關係に就き精細調査の上歸廳したが豫定を變更した調査振りは非常な注目を呼んで居る

磐炭試掘許可

磐炭出願に係る植田町、山田村渡邊村、上遠野村に跨る八十一萬七千坪の石炭試掘は此程許可になつた

給仕二名募集

十五六歳身体強健の者自筆の履歴書携帶希望者來談あれ

本社

骨肉亂鬪の實地檢證

現場で關係者調べ

高久村大字下高久字前の内農太吉長男定彌（五六）同次男房吉（四〇）兩名に係る傷害事件第二回公判は今十七日午前十時より平區に開廷されたが前回辯護士より申請した事件の目撃者大野マツ及びその夫某の居所判明せず又實地に就き檢證の必要を生じたので來月一日關口判事淸田檢事、門傳辯護士一行は現場に赴き被告兩名の外に父太吉、定彌妻イクヨ房吉妻ツル、及び前記マツに就き尋問することになつたと

日頃の行狀に免じた 執行猶豫の名判決

傷害の青年漁夫感泣

江名町大字江名字折戸四澤辰之助方漁夫新潟縣北蒲原郡松ヶ崎村生れ羽田一郎（三二）が去月二十日同町魚市場前海上で同町大字中之作字榎戸吉田鍊次郎外數名を乘せ傳馬船を操縦中岩礁に突當て船体を動搖させた擧から鍊次郎と口論したのが因でその後魚市場で鍊次郎に櫓で毆られ尙挑戰されたのを憤り魚擔ぎ棒を揮つて鍊次郎に全治三ケ月を要する頭蓋骨折並に内出血を加へた事件は昨十六日午後一時より平區で中島判事係り吉岡檢事關與公判開廷、懲役四月を求刑されたが裁判長は一郎が評判の孝行者で度々青年分團の副團長、幹事長等に擧げられ、嚴頭も人命救助で表彰された等ある模範青年なので懲役三月三年間執行猶豫の情ある判決に接し恩典に感泣して引下つた

無免許運轉手 九十六翁を轢く

昨日江名町地内で 手當効無く絶命

玉川村住吉一三大竹勉（三〇）は昨十六日午後三時頃無免許で豊間村鈴木房次郎所有貨物自動車を運轉、江名町南町地内を疾走中誤つて同町南町九庄司繁（九六）を轢き倒し被害者は直に最寄病院に舁ぎ込み手當てを加へたが約三十分後に絶命した

。。。。。川前農産品評會

來月十五日から左の如く開催する

十五日川前公會堂（出品百五十八點）十六日桶賣校（百六十點）十八日小白井分教場（百五十點）

。。。。。三春管内吏員見學

三春署管内各町村兵事々務主任其他十一名は明後十九日平署管內の優良町村である平、小名濱、高久、湯本の事務視察後入山炭鑛を見學する

不服の中野氏 復た訴願提起か

七、八年度分は原告敗訴

平町新川町中野勇吉氏が提起した七、八兩年度戸數割賦課額を不當とする行政裁判は遂に何れも敗訴したに拘らず此程新に町當局に對し八年度分として四百七十四圓二十四錢賦課に對する異議申立をなし來る二十一日の町會に附議されるが審理の必要なきものと觀られて居るので更に九年度四百八十八圓九十六錢に對しても期間經過から町會へは提案されぬので縣參事會へ提出されるだらうと云はれて居るが訴願提起の前提條件たる役場への異議申立てが無かつた關係から之亦却下されるでは無いかと觀られてゐる

磐中發火演習

既報の如く五年生は前月縣下の演習にも出たので參加を取止め四年生二百餘名のみで二十二日一日限り平—四倉間に於て行ふことになつた

五時五十分兩軍部署に就き拂曉戰を展開、同八時半終了、九時半より大浦校に閲兵分列式を擧行、正午解散するが、尙福島聯隊區司令官眞山大佐並に縣教育課長長谷英一氏の兩氏は特に來郡指導視察すると

春繭價好況

七十七圓で取引

郡內の今年度共同保管春繭川部農産實行組合百四石、草野村六十枚農産實行組合二十石中、川部分は此程前橋方面へ賣約決定昨十六日十貫七十七圓で引渡し當局の三百餘圓の補助金と共に約千圓の利益となつたが六十枚の二十石は先高を見越し當分手離さぬ模樣である

炭鑛對關係町村間の 衝突を裁量する法案

中央當局で制定の審議進む

鑛山業經營に伴ふ鑛毒防止對策についてさきに商工省は關係各省との間に鑛毒對策協議會を組織したが十四日午前本省にその第一回會合を開催、先づ協議事項並に議事規則について意見の交換を行つた結果鑛毒補償に對する法案制定の件を中心に今後の審議を進めることに決定正午散會した、なほ次回は二十二日の豫定で愈々該法案の制定に因つて鑛業者と關係町村等に於ける紛紜解決の大綱が樹立されると、鑛業者が故無く補償の義務を回避し或は關係町村が牽強附會の詭辯を弄して鑛業權者に迫るが如き弊害を少からしむる事が出來るので石城地方の如き炭礦地帶にとつては少からぬ便益を招來するものと觀測さる

青訓大演習

愈々明日盛あけ

郡寄信聯合演習は愈々十八日午後五時から翌十九日に亘り郡下四十數ケ青訓所約千五百名の生徒を動員し篠山聯合會長統監の下に行はれるが、第一日は午後四時各部隊位置に就き同夜北軍南軍各別個に攻防戰をなし同七時休戰、第二日は午前

第一校の体操に 縣下一の折紙つく

巡回研究で認めらる

昨十六日縣主催の體操科巡回指導研究會の第一日として行つた平第一校の成績に對し縣体育主事千田三省氏は當然優秀なるべき兩師範附屬小學校を除き縣下第一の優良な成績であつたと講評、磐中下山田、磐女永島兩教諭も夫々好成績を認めた講評を行つたと、今十七日は湯本小學校で行つた

桂月若かりし頃

その眼に映じたる 卅數年前の磐城

勿來關＝湯本温泉＝湯の嶽

1

明治二年生れの桂月は些か晩學であつたかして赤門を出たのが二十九年、當時既に文藝批評家たる一面、紀行文家として稱せられ、前にも書いた通りよく一笠一蓑の簡楚な旅行をしたもんだ。次は而立を出て兩三年、漸く文士生活にあぶらがのつて來た頃の一文である明治四十年刊『一枝の筆』中の（常磐の山水）から

勿來關

關本にて汽車を下り、平潟の市街を過ぎて、八幡山より平潟灣を見下せば、眺望亦佳なる哉。この地、十數の妓樓あれど、波に漂へる舟夫の聲が、舟よりはましなりと思ふにすぎざるべし。幾個の洞門をすぎ盡して、磐城に出づ。海濱より七八町上りたる處、傳ふ、これ勿來關址なりと。馬上弓を横へて歌を吟せし八幡太郎、今何の處にかある。路も狹にちりけむ山櫻もすでに枯れつくしぬ。星霜こゝに八百年將軍の昔を問へば松籟むなしく蕭々たり

湯本温泉

濱街道唯一の温泉場、兼ねて唯一の温柔郷たる湯本温泉は小山の間にある別天地也。汽車此地を過ぎ、石炭坑數箇處此附近に發見せられ、その機械場、常に煤煙を吐くに至りて、風致頗に俗了せり。されど、市街の中に堀起せる觀音山にのぼれば、矚目頗る閑雅也。數十の温泉宿、悉く脚下にあり。東山逶迤として恰も畫けるが如し

『送りましよかよ、天王崎へ。それで足らずば、船尾まで』とは、都にゆく客を送るたるべし。妓樓市街の中にありて、宿屋より遙に立派なるもの多かりしが、福島縣下は妓樓の市街中にあるを禁じたるを以て、四軒まで減じ居りし妓樓はたゞ一軒となりて、市街の外に移りぬ。妓樓は變じて宿屋となりぬ。而して藝妓の數、娼妓に幾倍するに至れりとかや

美人欄によりて一高樓を指して曰く、もとこれ妓館也。今もなほ記す。去年の春の暮、そこの妓館の一遊女、美にして利口なりしも男にほれてはのろき女性のならはし、男の心かはれるを見て、誓詞かゝせんとて紙とりにゆきたるひまに男にげゆきぬ。あと追へど及ばず。女終に熱湯のわき出づる槽中に入りて爛死せるこそいたましけれ。その湯槽は是なりと指す、槽は蓋ありて、熱湯は見えず。盛に立ちのばる湯氣は、むかし李夫人のあらはれし返魂香もかくやと見ゆる夕の空湯氣の末に一痕の缺月かすか也

新十一月十八日 舊十月十二日 日曜 癸巳 先負 破 房宿

鑑判定廳發 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 運氣好轉の兆あるも急功を望むは不利なり▲二黒の人 昇り掛けたかい段も途中に足を踏み外す如し▲三碧の人 調子に乘り過ぐる時は運氣逆轉するに至る▲四綠の人 小事を輕視して大局を不利に導くことあり▲五黄の人 勞多き割合に功少なき日氣折せず進むべし▲六白の人 相談契約は大なる悔を遺すべし後日に讓れ▲七赤の人 成功は多少後るゝとも念には念を入るが吉▲八白の人 人を頼みて豫期に反すること多し文書注意▲九紫の人 勞苦の汗も夕暮に流す行水の樂みある如し

十八日

日出 六、一九 月出後 二、二三

日没 四、三三 月没前 二、五七

滿潮 前 三、一〇 後 三、四五 干潮 前 九、〇五 後 九、三五

十九日

日出 六、二〇 月出後 二、五五

日没 四、三三 月没前 四、〇四

滿潮 前 四、一〇 後 三、二〇 干潮 前 九、四五 後 一〇、一〇

新十一月十九日 舊十月十三日 月曜 甲午 佛滅 危 心宿

▲一白の人 勇進せされば人後に落つべし企業開店皆吉▲二黒の人 小事も忽せにせず手違を生ぜぬ樣注意せよ▲三碧の人 何となく不安に襲はる實直に本業を守るべし▲四綠の人 衆人との融和同情を深かめ萬事順調に運ぶ▲五黄の人 諸事停滯し間違ひも起り易き日氣を緩むな▲六白の人 起業計畫總て違差を生じ易し病難警戒せよ▲七赤の人 遠大の謀も跡なき如し證文書付に手違生ず▲八白の人 利は薄くとも本業大切と守るべし失物注意▲九紫の人 隆運の日にて萬事調達するも有頂天たるな

●御扱ひ開始

間の拔けた質屋 旭屋一六銀行

通三丁目 電四二五

大藏省允許

磐城無盡

斷然群ヲ拔ク

共存共榮

誠實堅實

●●●防寒洋品と

特選 ショール

……常に逸品……

中野洋品店 平 電二三五

NAKANO● NAKANO● NAKANO● NAKANO

廣告